



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 理研計器株式会社
コード番号 7734 URL <https://www.rikenkeiki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 哲哉
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経理部長 (氏名) 前田 卓郎 TEL 03-3966-1128
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,675	1.2	5,847	△8.8	6,456	△2.7	4,548	0.0
2023年3月期第2四半期	22,404	22.6	6,408	47.4	6,633	47.3	4,546	43.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 6,403百万円 (14.1%) 2023年3月期第2四半期 5,610百万円 (36.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	195.33	—
2023年3月期第2四半期	195.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	85,284	68,867	80.7	2,957.27
2023年3月期	79,746	63,383	79.5	2,722.26

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 68,867百万円 2023年3月期 63,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,400	3.1	11,600	0.4	12,000	0.5	8,700	0.3	373.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	23,661,000株	2023年3月期	23,661,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	373,639株	2023年3月期	377,565株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	23,285,113株	2023年3月期2Q	23,279,379株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が5類への移行後一段と緩和される中で、緩やかな回復傾向にあります。

一方でロシア・ウクライナ情勢の長期化、急激な為替相場の変動、原材料価格やエネルギー価格の高騰に伴う物価上昇等により、引き続き先行きが不透明な経済情勢が続いております。

当社グループの属する産業用防災保安機器業界におきましては、半導体業界を始めとした主要顧客の設備投資は一定の投資で推移しましたが、部品の供給不足や物価上昇等が与える影響に十分注意する必要もあり、先行きについても当面の間は不透明な状況が続くと見込まれます。

このような情勢の中で、当社グループは、生産の合理化による原価低減、徹底した経費削減、積極的な営業活動の展開、新製品開発への積極的な投資、品質管理体制及びサービス体制の充実に継続して取り組んで参りました。

これらの諸施策の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は226億7千5百万円（前年同四半期比1.2%増）、連結営業利益は58億4千7百万円（前年同四半期比8.8%減）、連結経常利益は64億5千6百万円（前年同四半期比2.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億4千8百万円（前年同四半期比0.0%増）となりました。

当社グループの事業は、各種産業用測定機器の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績に代えて機種別の売上の状況を以下に記載いたします。

① 定置型ガス検知警報機器

当第2四半期連結累計期間の定置型ガス検知警報機器の連結売上高は、152億4千5百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

② 可搬型ガス検知警報機器

当第2四半期連結累計期間の可搬型ガス検知警報機器の連結売上高は、68億8千9百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。

③ その他測定機器

当第2四半期連結累計期間のその他測定機器の連結売上高は、5億4千万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比較して55億3千7百万円増加し、852億8千4百万円（前連結会計年度末比6.9%増）となりました。流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して40億6千万円増加し、553億6千1百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が20億5千1百万円増加したこと及び受取手形及び売掛金が10億5千2百万円増加したこと等によるものであります。固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して14億7千7百万円増加し、299億2千3百万円となりました。これは主に、投資有価証券が15億6千3百万円増加したこと、無形固定資産その他に含まれるソフトウェア仮勘定が2億5千3百万円増加したこと及び建物及び構築物が1億9千1百万円増加した一方で、建設仮勘定が3億2千5百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末と比較して5千4百万円増加し、164億1千7百万円（前連結会計年度末比0.3%増）となりました。流動負債につきましては、前連結会計年度末と比較して4億8千1百万円減少し、135億4千2百万円となりました。これは主に、電子記録債務が2億8千4百万円増加した一方で、流動負債その他に含まれる未払金が6億1千6百万円減少したこと等によるものであります。固定負債につきましては、前連結会計年度末と比較して5億3千5百万円増加し、28億7千5百万円となりました。これは主に、固定負債その他に含まれる繰延税金負債が7億9千2百万円増加した一方で、長期借入金が1億7千4百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して54億8千3百万円増加し、688億6千7百万円（前連結会計年度末比8.7%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益45億4千8百万円を計上し、剰余金の配当が9億3千1百万円あった結果、利益剰余金が36億1千7百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して10億1千1百万円減少し、179億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を64億5千6百万円、減価償却費を8億6千5百万円計上した一方で、棚卸資産の増加額が32億9千9百万円であったこと及び法人税等の支払額が17億7千4百万円であったこと等により、営業活動の結果獲得した資金は5億5百万円（前年同四半期は3億5千3百万円の使用）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却による収入10億4千7百万円、有価証券の償還による収入5億円及び定期預金の払戻による収入3億9千8百万円があった一方で、定期預金の預入による支出8億4千1百万円、有価証券の取得による支出7億7千4百万円、投資有価証券の取得による支出6億4百万円及び有形固定資産の取得による支出3億4千2百万円があったこと等により、△8億7千8百万円と前年同四半期連結累計期間と比較して支出が7億9千7百万円の増加となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額9億2千9百万円があったこと等により、△13億7千8百万円と前年同四半期連結累計期間と比較して支出が15億8千7百万円の減少となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年5月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,605,281	13,472,647
受取手形及び売掛金	10,439,153	11,491,178
電子記録債権	3,713,877	3,834,462
有価証券	8,414,092	7,996,952
商品及び製品	3,584,070	4,296,658
仕掛品	6,039,294	6,731,431
原材料及び貯蔵品	4,532,924	6,583,998
その他	976,706	959,147
貸倒引当金	△4,346	△5,131
流動資産合計	51,301,053	55,361,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,826,073	11,017,166
機械装置及び運搬具(純額)	361,360	373,176
土地	4,150,454	4,135,501
建設仮勘定	409,421	84,193
その他(純額)	1,590,552	1,500,542
有形固定資産合計	17,337,862	17,110,580
無形固定資産		
のれん	510,481	460,122
顧客関連資産	805,777	791,011
その他	451,525	664,432
無形固定資産合計	1,767,784	1,915,566
投資その他の資産		
投資有価証券	6,033,462	7,596,554
退職給付に係る資産	1,827,197	1,857,883
その他	1,482,284	1,445,674
貸倒引当金	△2,900	△2,900
投資その他の資産合計	9,340,044	10,897,212
固定資産合計	28,445,691	29,923,359
資産合計	79,746,745	85,284,703

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,201,320	5,380,899
電子記録債務	847,302	1,131,906
短期借入金	995,000	975,000
未払法人税等	1,816,425	1,640,424
賞与引当金	988,058	992,688
製品保証引当金	106,260	109,791
受注損失引当金	152,203	17,770
その他	3,917,125	3,293,714
流動負債合計	14,023,696	13,542,195
固定負債		
長期借入金	850,580	676,460
資産除去債務	11,172	11,172
その他	1,477,661	2,187,767
固定負債合計	2,339,414	2,875,399
負債合計	16,363,110	16,417,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,565,500	2,565,500
資本剰余金	1,094,969	1,104,561
利益剰余金	56,626,968	60,243,986
自己株式	△222,609	△220,908
株主資本合計	60,064,829	63,693,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,982,144	2,972,197
為替換算調整勘定	1,336,660	2,201,771
その他の包括利益累計額合計	3,318,805	5,173,968
純資産合計	63,383,634	68,867,108
負債純資産合計	79,746,745	85,284,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	22,404,903	22,675,492
売上原価	10,426,788	10,945,930
売上総利益	11,978,115	11,729,562
販売費及び一般管理費	5,569,695	5,882,151
営業利益	6,408,419	5,847,411
営業外収益		
受取利息	32,285	50,839
受取配当金	60,895	71,045
為替差益	352,391	358,744
受取保険金及び配当金	8,237	30,876
有価証券売却益	19,133	—
有価証券評価益	—	241,654
雑収入	42,149	39,162
営業外収益合計	515,093	792,322
営業外費用		
支払利息	22,126	20,877
固定資産除却損	0	561
有価証券売却損	17,430	161,488
有価証券評価損	243,299	—
雑損失	6,990	319
営業外費用合計	289,847	183,247
経常利益	6,633,665	6,456,486
特別利益		
固定資産売却益	2,559	5,550
特別利益合計	2,559	5,550
特別損失		
固定資産売却損	1,141	5,666
減損損失	26,160	—
投資有価証券評価損	79,528	—
固定資産処分損	102,000	—
特別損失合計	208,830	5,666
税金等調整前四半期純利益	6,427,394	6,456,370
法人税、住民税及び事業税	1,759,373	1,584,950
法人税等調整額	128,647	323,064
法人税等合計	1,888,020	1,908,015
四半期純利益	4,539,373	4,548,355
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,840	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,546,213	4,548,355

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,539,373	4,548,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147,443	990,052
為替換算調整勘定	1,218,144	865,111
その他の包括利益合計	1,070,700	1,855,163
四半期包括利益	5,610,074	6,403,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,489,350	6,403,518
非支配株主に係る四半期包括利益	120,723	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,427,394	6,456,370
減価償却費	852,809	865,973
のれん償却額	90,484	90,712
減損損失	26,160	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	629	419
賞与引当金の増減額 (△は減少)	375,391	4,629
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△13,347	3,531
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△37,867	△30,685
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	7,023	△134,432
受取利息及び受取配当金	△93,181	△121,885
受取保険金	△8,237	△30,876
支払利息	22,126	20,877
為替差損益 (△は益)	△767,688	△384,827
固定資産売却損益 (△は益)	△1,417	116
固定資産除却損	0	561
固定資産処分損益 (△は益)	102,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,964,992	△915,152
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,162,407	△3,299,212
仕入債務の増減額 (△は減少)	△842,025	233,848
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△470,044	92,362
有価証券売却損益 (△は益)	△1,703	161,488
有価証券評価損益 (△は益)	243,299	△241,654
投資有価証券評価損益 (△は益)	79,528	—
その他	△492,011	△739,737
小計	1,371,925	2,032,426
利息及び配当金の受取額	94,450	123,426
利息の支払額	△22,126	△20,877
保険金の受取額	19,135	145,418
法人税等の支払額	△1,816,714	△1,774,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	△353,330	505,885

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△792,292	△774,407
有価証券の売却による収入	263,399	1,047,744
有価証券の償還による収入	1,049,050	500,000
定期預金の預入による支出	△414,000	△841,700
定期預金の払戻による収入	414,000	398,700
有形固定資産の取得による支出	△363,014	△342,035
有形固定資産の売却による収入	8,869	24,799
有形固定資産の除却による支出	△102,000	—
無形固定資産の取得による支出	△36,170	△323,412
投資有価証券の取得による支出	△109,531	△604,883
貸付金の回収による収入	—	36,313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,690	△878,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△194,120	△194,120
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△229,860	△253,570
自己株式の純増減額 (△は増加)	△349	△694
配当金の支払額	△906,169	△929,627
非支配株主への配当金の支払額	△25,701	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,608,888	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,965,090	△1,378,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,174,065	739,641
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,226,046	△1,011,366
現金及び現金同等物の期首残高	17,989,503	18,913,037
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	238,914	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,002,371	17,901,670

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更）

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、在外子会社の収益及び費用の重要性が増加してきたため、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、会計期間を通じて発生する在外子会社の損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であります。